

～キャリアの軌跡～

長崎大学病院 初期研修

2013

たすきがけ特集

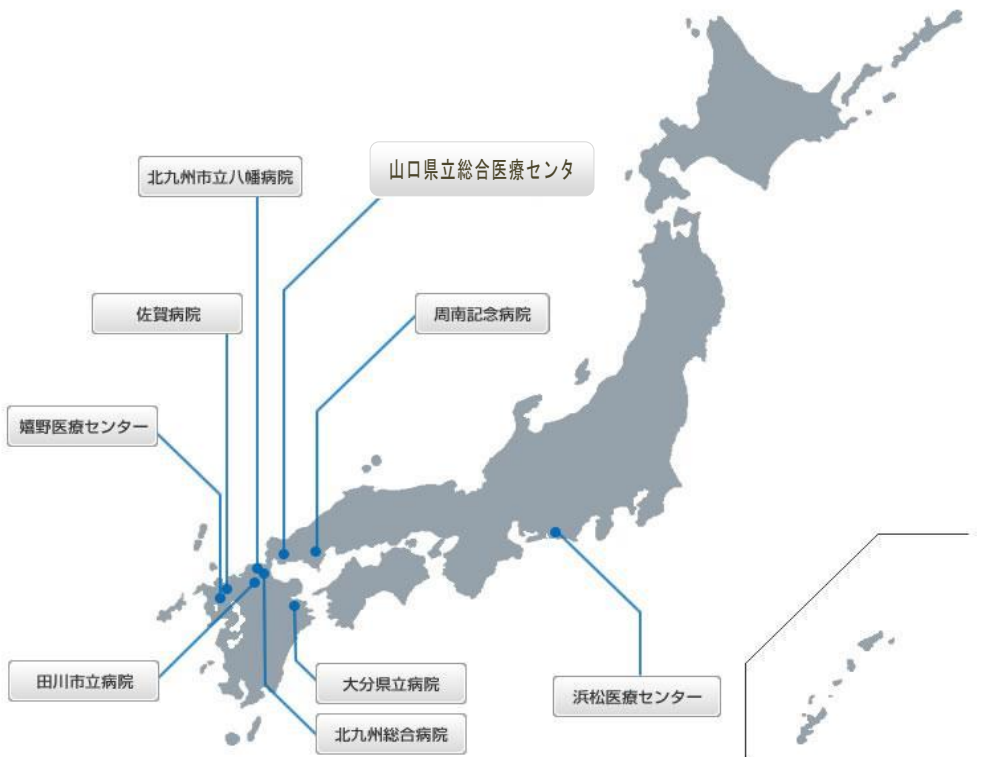
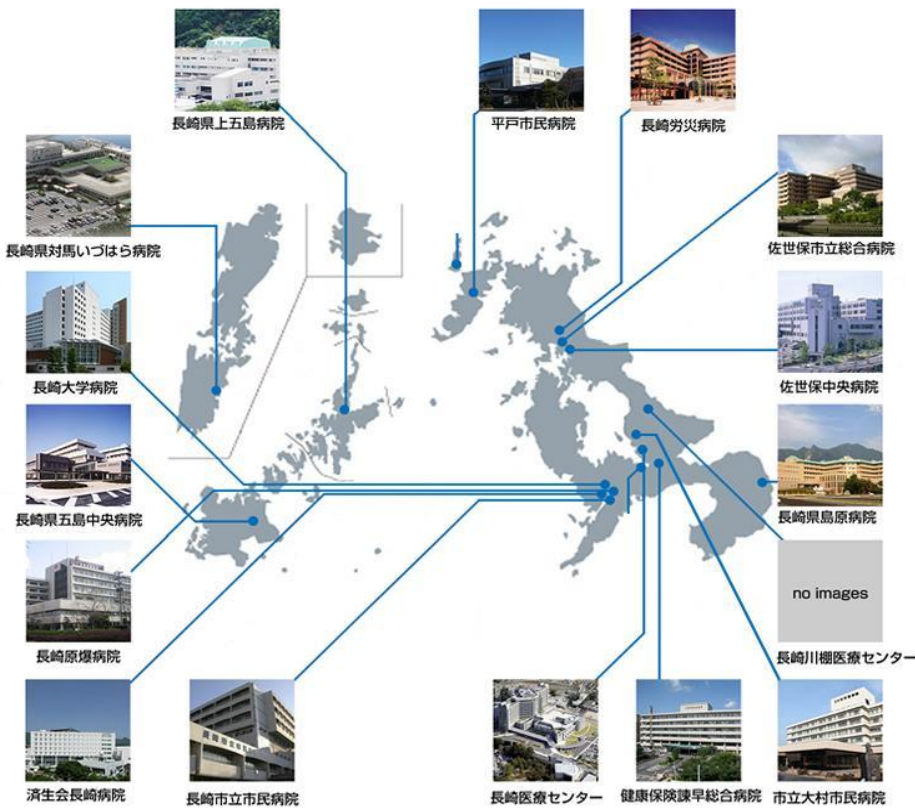
第34号 2013年 5月16日 長崎大学病院 医療教育開発センター発

マッチング前に! **6/1** 2013 土
 オール長崎 初期研修
合同説明会
 15:00~

場所/長崎新聞文化ホール アストピア
 対象/医学部生(4・5・6年生)
 交通費 事前登録された方には交通費の助成があります。

説明会に参加して
 「たすきがけ病院」を
 決めよう!

長崎大学病院の初期研修では、**24**のたすきがけ協力病院で互いの長所を活かし、common disease、プライマリケアから高度先進医療まで幅広く研修できます。そのたすきがけ協力病院で実際に勤務した研修医の先生に、それぞれの病院の魅力等についてコメントをいただきました♪



長崎大学病院で大丈夫!!



経験者は語る!

長大 → 健康保険諫早総合病院 (2年次)

健康保険諫早総合病院の特徴としては ①医局の垣根が低く、紹介や相談がしやすいため、全般的な臨床能力を身につけられること、②手技が多いこと、③研修内容への変更を研修中でも対応してくれること、④給料も高いこと、です。

救急外来では walk in でも救急車搬送でも研修医が first touch をさせて頂き、指導医も熱心な先生が多いので 2年目の私でも多くのことを学ぶことができました。

たすきがけの病院に健康保険諫早総合病院を選んで本当に良かったと思っています。

高橋 孝輔先生 (大分大学卒)



長大 → 佐世保市立総合病院 (2年次)

佐世保市立総合病院は県北地域の中核病院であり、common disease から稀少な症例まで数多くの症例を経験できます。各診療科の先生方がとても熱心に指導して下さるので、知識に限らず、手技の面でも大いに成長でき、充実した研修生活が送れると思います。他科研修中であっても、疑問点や方針に迷うことがあれば各診療科の先生方が快く相談に乗ってくださいます。また、研修医の数が比較的多く、24年度は18名の研修医(1年次8名、2年次10名)がいました。お互いに知識を共有し合い、励まし合いながら良い雰囲気の中で楽しく研修できます。さらに、研修医向けの英会話教室も無料で受講することができ、米軍診療所の医師や看護師さんと医療英語を中心に楽しく英語を学ぶことができます。米軍基地内で一緒に食事をするという楽しい企画もありましたよ。

吉田 茉央先生 (長崎大学卒)



長大 → 長崎大学病院 (2年次)

他大学出身で長崎にゆかりのない人でもわりとすんなりなじむことが可能です。研修で何を目的としているかをはっきり持てば、それに必要な知識、技術、見通しなどを享受できます。

自身の近い将来や遠い将来にこうなりたいと思う医師像が必ず見つかります。ロールモデルとなる先生方の姿を見て、どうやって成長するか、何を習得していくかを自ら考え、研修をデザインできるフレキシブルな研修システムである。しかし、フレキシブルであるからこそ、より一層社会人としての立ち振る舞いを行う必要がある。

橋本 法修先生 (福岡大学卒)

長大 → 長崎市立市民病院（2年次）

知人に勧められ、市民病院で1年間研修しました。放射線科、消化器内科、循環器内科をローテし、どの科の先生方も素敵な方ばかりで、たくさん手技もしました。また、看護師さんや放射線技師さん、検査技師さん、リハの方々などにもとてもよくしていただきました。



尊敬する先生方、頼れるコメディカルの方々・・・本当に今後一生つきあっていきたいと思う方ばかりで、離れるのがとても悲しいです。

市民病院は明るく活動的に研修の出来る、大好きな病院です。

千葉 章代先生（福岡大学卒）

長大 → 大分県立病院（2年次）

医師として実際に働いてみて出身地大分の医療について知りたいと思ったのと、いつかは地元で働きたいという思いもあり、大分県立病院を選びました。仕事内容は大学病院とあまり変わりなく、受け持ち患者も適度です。大学と違う点はやはり当直があることです。県病の当直は、内科と外科関係なくウォークインから救急車対応のすべての救急外来患者のファーストタッチを研修医2人（一年目と二年目、各1人ずつ）で行います。

また、その指導体制として、内科系と外科系当直が1人ずついて、何事にも相談やアドバイスをしてもらえます。大変ではありますが、とても勉強にもなり実践できます。各科の垣根もありません。研修医みんな仲良しで飲み会がよく開催されます。大分大学や九州大学から協力型で来ている研修医も多く、交流の幅も広がります。



小山 正三朗先生（長崎大学卒）

長大 → 北九州総合病院（2年次）

長崎大学の研修プログラムに決定し2年目の研修病院を決める際に、自分が北九州出身というのもあって、実は特に詳しく調べもせずに北九州総合病院を選びました。

ですが、実際に研修してみると症例数と手技の多さに驚きました。重症患者の挿管、CV、Aラインは当たり前で、マイナー外科手術は多くは研修医2年目が前立ちでした。初めは同期との手技レベルの違いに戸惑いましたが、とにかく症例数が多いので次第に慣れ、初療における重要な手技は一通り身に着けることができました。

上級医やスタッフも本当に優しく熱心で、充実した研修をおくることができました。強いて欠点を挙げるとすれば、大学に比べると学会発表の機会が少ないので、学術的な面は弱くなりがちです。しかし積極性があればカバーできる部分なので自分次第だと思います。



初期研修の4月から完全に戦力として扱われるので相当鍛えられるのは確かです。特に外科系の診療科を考えている方はお勧めの病院です。

大橋 和明先生（長崎大学卒）

長大 → 浜松医療センター（2年次）

浜松医療センターは、救急車の搬送数が浜松一・二位を争うほど多いので、救急研修がしっかりしていて、初期対応・common diseaseを勉強したい人には最適だと思います。

休日の当直の際は、通常2年次研修医1名、1年次研修医1名、外科・内科医師1名ずつの計4名で、一日約100名の患者さんを診るため、様々な症例を勉強することができました。

定方 英作先生（長崎大学卒）



長大 → 原爆病院（2年次）

たすきがけのコースを選ぶにあたって、いろいろと病院見学へ行ったのですが、正直どこがいいのかは見学ではよくわからなかったです。このため、知人が原爆病院で研修して楽しそうだったということ、大学病院が一番近くて引っ越しをしなくて済むことから原爆病院を選びました。

どこの市中病院もそうかとは思いますが、大学と違って他科の先生に相談しやすい環境であることはいいです。先生方も質問に対しては親切に教えて下さいます。また、内科研修ではすべての内科を受け持つので、処置の時間が重なるなどのデメリットもありますが、大学で回らなかった内科疾患も経験できる点はよいと思います。

外来のファーストタッチは基本的に研修医なので、この患者さんに検査はどこまで必要か？重症か？入院の可能性は？など考えることが多く勉強になりました。

1年間、外来対応や手技的なことなどいろいろな経験ができて勉強になりました。

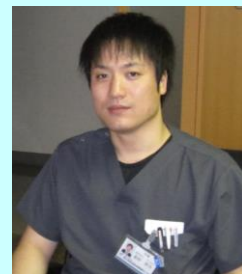


本多 舞先生（島根大学卒）

長大 → 長崎医療センター（2年次）

長崎医療センターは、どの科も研修医に慣れており指導体制・方針がしっかりしており、上級医はもちろんの事、診療科の垣根を越えてもコンサルトしやすい環境でした。

月4回程度の当直でwalk in/救急車関係なく必ず初診を研修医が行う為自然と身につけ充実していましたし、私がローテートした麻酔科・総合診療・救急では自分の興味がある疾患を優先的にまわしてくれたり総合診療・救急においては患者の振り分けが希望制なので本人次第でかなり充実した研修を送れると思います。



北村 哲生先生（佐賀大学卒）

長大 → 五島中央病院（2年次）

五島中央病院は、「島」の中核病院で、様々な患者さんが集まってきました。実際に研修してみて、メジャー疾患はもちろん、私は大学で学べなかった日本脳炎や結核等の症例も診ることができました。また、当直等をしていると内科なら発熱～CPA、外科なら腰痛から交通外傷まで様々な症例と出会えます。



指導医の先生は皆優しく（時に厳しく）指導してくれます。また、医局が全科でひとつなのでとてもコンサルトしやすいです（私の席は隣が眼科、耳鼻科。後ろが外科。前に研修医という座席）。

吉見 龍二先生（福岡大学卒）

その他、市立大村市民病院、長崎県島原病院、長崎川棚医療センター、佐世保中央病院、長崎労災病院、平戸市民病院、長崎県上五島病院、長崎県対馬いづはら病院、国立佐賀病院、嬉野医療センター、北九州市立八幡病院、北九州総合病院、田川市立病院、山口県立総合医療センター、周南記念病院でも研修できます！

その他、いろいろな情報を当センターのホームページに掲載していますので、是非ご覧ください♪病院見学も随時受け付けています！

お気軽にお問い合わせください！

発行＝長崎大学病院 医療教育開発センター

TEL：095-819-7847 FAX：095-819-7882

MAIL：kaihatu@ml.nagasaki-u.ac.jp

HP：http://www.mh.nagasaki-u.ac.jp/kaihatu/

BLOG：http://careerngs.exblog.jp/